

病院理念

- 1、私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 1、私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 1、私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

基本方針

① 高度・専門医療の提供

高度・専門医療を提供することで、幅広い診療圏を持ち、尾北医療圏の中核病院となる。

② 救命救急、災害医療

救命救急センター的機能を保有し、24時間救急に対応する。災害時には地域の拠点として災害医療を担う。

③ 江南市の市民病院的な役割を果たす

救急をはじめとする不採算医療を担うとともに、治療の院内完結率を向上させる。

④ 教育研修病院

臨床研修指定病院として、また、各種学会認定の研修施設として、広く医療従事者の資質向上に努める。

⑤ 地域連携への取り組みの強化

病・病連携、病・診連携の強化を図り、地域医療の後方支援に努めるとともに、研修、人的交流を通じて地域医療水準の向上を図る。

⑥ 予防医療の強化

健康管理センターを中心に疾病予防に力を入れ、疾病の早期発見、早期診断、早期治療に努める。

頌
春





年頭ごあいさつ



院長 加藤 幸男

新年明けましておめでとうございます。

江南厚生病院は、平成20年5月に開院し2回目の新年を迎えました。まだ、開設できない診療科も二、三ありますが、外来、入院とも診療が軌道にのりつつあります。ただ、電子カルテのため、パソコンに不慣れな年配の医師や、パソコンが苦手な医師を中心に、画面ばかり見ている、あるいは待ち時間が長すぎるといった苦情が多く寄せられています。良い解決策がみつからず悩んでいます。

由来のものでした。そして、メキシコの死者数、死亡率が過大に報道され、また、北米大陸で感染が拡大しました。そこで日本政府は4月末より、空港の入国者に対する検疫に重点を置きました。異様な完全防護服を着た検疫員が空港内を行き来し、また機内に入る姿もマスコミは連日報道し、国民に恐怖心を植え付けました。新型のため人に全く免疫がないと言われるので、その症状はこれまでの季節性インフルエンザとほぼ同程度であることが判明した後も、国は水際作戦を続行し、マスコミも報道し続けました。

そうしている間に、神戸で集団発生がおこり、当然のことながら感染源、感染経路は不明でした。それからまたたく間に全国に拡がりました。その頃全国で新型インフルエンザに罹患した人は周囲から白い目で見られ、村八分状態にされた人もいたようです。当院でも外来で愛知県最初の患者さんが見つかり、県の指定の病院に入院されたことが報道された時も、当院に入院したと勘違いされ「何でそんな患者を入院させるんだ」といつ

た電話が数件ありました。これが運悪く病気になってしまった人に対する一般の人々の反応なのかと思うと残念でなりません。

そして、研究者や専門家は梅雨になり湿度が高まれば、そして暑い真夏になれば新型インフルエンザは終息し、秋から冬にかけて第2波が来襲し、今度は小児や青少年だけでなく、大人も多数罹患し、死亡率が高くなると警告しました。しかし、現実には梅雨になり真夏になって感染は拡大の一途をたどり9月、10月と全国で感染が増加し、11月には感染のピークを迎えました。そして、やはり依然として幼児、小中学生、高校生そして大学生までが大半を占めています。今後このまま一旦終息に向かうのか、あるいはまたすぐ再燃してくるのか誰にもわかりません。

そんななか、インフルエンザのワクチンについても大変でした。国は季節性インフルエンザのワクチン（新型ワクチン）は前年に5000万人分製造したが、実際には4000万人使用され、1000万人分返品があった。そこで今年は前年の8割を製造して、残りのワクチン生

産設備を新型インフルエンザのワクチン（新型ワクチン）の製造にあてると報道されました。ところが、実際には当院に供給されたのは昨年の実際の使用分の8割しかありませんでした。

問屋に尋ねると、昨年の使用分の8割しか生産していないのでこれ以上は全く供給できないとの回答でした。国の報道が正しいのか、問屋の話が本当なのかわかりませんが、これだけしか入手できませんでした。一方で新型インフルエンザの影響で季節性ワクチンを希望する人々は増加し、当院でも予約はすぐに満員となりました。そのため接種の予約からもれた人からの苦情や抗議が殺到しましたが、ワクチンそのものがないのですから、病院としてどうしようもありません。

新型ワクチンについてはもともと大変で10月より問い合わせが多くなり、11月になると私は優先接種対象者なのか、私はいつ接種できるのか、いつから接種が始まるのかといった問い合わせや電話が多く、職員はその対応に追われました。国はマスクミを通して、妊婦は何月何日から接種する、次の対象者は何月

何日から接種すると発表しますが、実際には国の機関がワクチンの接種をするわけではありません。各々の病院や診療所が接種します。各医療機関の準備もありますし、予約も必要です。また通常の診療に加えての話です。特に病院はその余力により接種できる人数には限りがあります。まして直前まで大人の接種は1回でよいのか、2回必要なか結論が出ず、また供給される量も直前にならないとわからず、そのため病院としては予約もできません。現在の状況がパンデミックで非常事態と考えるなら、国や県などの行政は保健所の医師や保健師、看護師を総動員して各小中学校の体育館を使用し、接種対象となる人々を集めて集団接種をした方がより迅速に、より効率的に、より多くの人々に接種ができる、人々が安心できるのにと考えるのは私だけではないと思います。いずれにしろ、こんな騒動は早くおさまってほしいと思います。

今年早く新型インフルエンザが終息して、また季節性インフルエンザも流行せず平穏な年になるように願っています。

江南厚生介護相談センターからのご案内

当事業所は、江南厚生病院に併設された指定居宅介護支援事業所です。

要介護状態及び要支援の方が「介護保険の居宅サービスを利用して、住み慣れた家で生活したい」とご希望があれば、所属するケアマネジャー（介護支援専門員）が、次のような心がけで支援します。

- 介護保険について複雑な内容を利用者・家族の立場にたってわかりやすく伝えていきます。
 - 利用者の心身状況・家族の思い等を踏まえて意向を尊重し各サービスが効率的に受けられるように公正中立な立場で行います。
 - 病院内の各部門、保険者、居宅サービス事業者等との連携に努めます。
- 江南市内にお住まいの方を対象としています。

.....

「どうしようかな？」と迷われた際は、お気軽にご相談ください。

11月6日 公開医療福祉講座

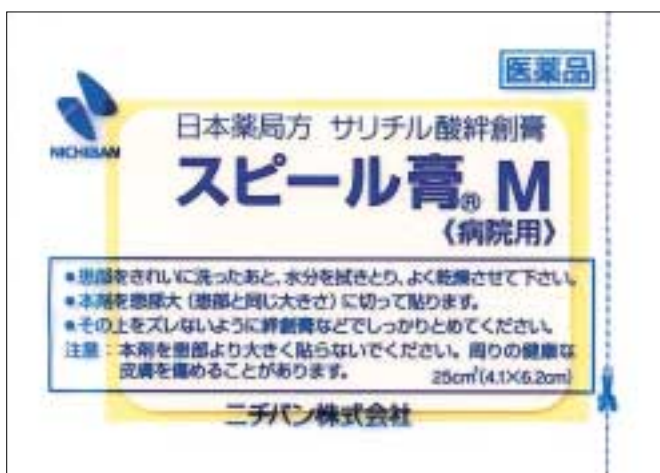
11月6日(金)に公開医療福祉講座が開催されました。今回のテーマは「日本の医療制度と医療供給体制」で、鈴江事務長よりお話ししました。日頃知ることの少ない世界の医療状況について、データに基づき丁寧に紹介しました。

世界の国によっては、救急車にお金が必要な国、先にお金を払わないと診療してもらえない国など、医療環境が日本とは全く異なるところがたくさんあるという現実を知ると、今の日本の医療体制の豊かさを改めて実感しました。自分で病院が選べる、どの病院に受診しても保険制度が利用できるなど当たり前のこの医療環境の中で私たちは日々様々な要望や要求を持って生活していますが、この当たり前と思えることが、実は素晴らしい環境である事実を知ったときに、もう一度この医療環境をどう守るのか、という大切な事に気づかされます。医師不足、愛知県の医師の数が全国平均を下回っているという事実から、今あるこの病院の環境を守り発展させるためにも、地域住民による医療を守る取り組みが必要な時代なんだと、講座を受講された感想も多数寄せられました。これからも、地域の医療状況を学ぶ機会としてこの講座を次年度も企画していきます。





おくすりの外装の表示は、日々改善されつつあります。改善例としてスピール膏を見てください。以前の表示は「膏面被覆物をはがし、本剤を患部大に切って貼り、その上をズレないように絆創膏などでしっかりとめてください」と記載されていたのですが、この内容では、貼る場所の状態はどのような状態が適しているのか解りません。また、患部大という言葉が、患部と同じ大きさであると理解できない方もお見えになると思います。さらに、大きさを間違えてしまったときの副作用も解りません。しかし、現在では、写真の記載に変更され使用方法などが解りやすくなりました。現在お使いいただけるおくすりのすべてが解りやすい記載のものばかりではありません。従いまして、解りにくい（解らない）時は、気がねなく薬局にお尋ねください。薬剤師が、記載内容を解りやすく解説させていただきます。



おくすりの外装表示の移り変わり



最近、脚の付け根や肘の動脈からカテーテルと呼ばれる細い管を入れて、頭や心臓、肝臓などの病気を血管内から治療が行われています。当院では月に約100人の患者さんが、この治療を受けています。

一番多いのは心臓の病気で、狭心症や心筋梗塞の狭くなった動脈を、バルンと呼ばれる風船やステントと呼ばれる金属の筒を入れて動脈を広げる治療を行っています。不整脈の原因となる部位に高周波を通電して遮断する治療も行っていきます。



循環器血管撮影室

江南厚生病院には循環器センターがあり、専門医や充実したスタッフにより、24時間体制にて救急車で来られた患者さんにカテーテルを使って治療しています。大きな手術を必要としないので、体に優しい治療と言えます。江南市以外の病院からの紹介も多く、検査数は年々増えています。

血管カテーテルを使った新しい治療

ニュース

■病院機能評価 (Ver.5.0) の認定を受けました

2009年9月4日付で(財)日本医療機能評価機構から、病院機能評価Ver.5.0(審査体制区分4(500床以上))の認定を受けました。

病院機能評価とは、医療の質の一層の向上を図るため、医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、その結果明らかになった問題点の改善を支援するもので、(財)日本医療機能評価機構が行っている医療機関の第三者評価です。病院機能評価の認定を受けることは、一定レベル以上の医療機能を備えていることになるとともに、問題点や課題も明らかとなり、医療機能の更なる改善につながります。9月4日現在、全国8766病院中2559病院(約29%)が認定を受けています。当院は開院後間もなく、院長を委員長とする病院機能評価検討委員会を立ち上げ、地域の中核病院として良質な医療を提供するため、また自院の位置づけを客観的に把握し、改善すべき問題点をより具体的なものとす

るため、様々な努力・改善を行ってきました。そして書類審査を経て、6月10日〜12日に7名の審査員(サーベイヤー)により約600項目にも及ぶ評価基準に基づき訪問審査を受けました。

今回の認定で当院の診療や看護が一定の水準以上にあることが確認されましたが、これに満足することなく、ひとつの通過点とし、今後も「患者さん中心の医療」「患者さんの安心と信頼を得る」という当院の理念のもとより良質な医療サービスが提供できるようスタッフ一同全力で取り組んでいきます。



■言語聴覚療法室 保護者交流会



保護者同士の交流の機会が欲しい、ことばの発達に関わる専門家と気軽に話し合いたいとの声を受けて、11月7日(土)に初開催となりました。当日は保護者10名、子ども6名、スタッフ16名が参加しました。教育・保健・医療の連携を深めることを目的に、江南市教育委員会、布袋小学校、岩倉南小学校、江南市保健センターからも先生方や保健師の方々にご参加いただきました。皆さん熱心に意見交換をして盛り上がり、あつという間の2時間でした。参加者全員から今後も交流会継続を望む声がありました。保護者の方々が子どもたちを安心して育てられるように今後もサポートしていききたいと思えます。

■第38回江南市農業まつり 新型コロナウイルスを視野に「感染症対策コーナー」を開設

「第38回農業まつり」が、11月7日(土)・8日(日)の二日間にわたり「すいとびあ江南」にて開催されました。

内容は、身体計測や血圧測定と、例年好評の、血管年齢測定・骨密度測定に視力測定を追加。さらに、保健師・管理栄養士による健康相談と、時節柄、感染管理認定看護師による「感染症対策」の手洗い実演による指導も実施しました。

「感染症対策」では、新型コロナウイルスの大流行がささやかれている折から、熱心に知識・技能の習得に望む光景がみられました。

2日間で431名の方が利用され、盛況のうちにも終わりました。みなさまのご協力に感謝いたします。



新型コロナウイルス対策を含めた日常生活における感染予防について説明

診療日カレンダー

1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

休診日 (赤い背景) 午後休診 (青い背景)



休診日

- 日曜日、祝日、第2・4・5土曜日
- 年末年始(12月30日～1月3日)
- 創立記念日(8月15日)

新患受付時間

平日(月曜日～金曜日) ……8時30分～11時00分
第1・3土曜日 ……8時30分～11時00分

再来受付時間

[予約のある方]
平日(月曜日～金曜日) ……7時30分～16時30分
第1・3土曜日 ……7時30分～12時00分
[予約のない方]
平日(月曜日～金曜日) ……7時30分～11時00分
第1・3土曜日 ……7時30分～11時00分

予約センター受付時間 ☎0587-51-3330

平日(月曜日～金曜日) ……8時30分～16時00分
第1・3土曜日 ……8時30分～11時00分

面会時間

平日(月曜日～金曜日) ……15時00分～20時00分
土曜日・日曜日・祝日 ……13時00分～20時00分

面会のご注意

- 4人床の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように、談話コーナーなどをご利用ください。
- 患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、病室での通話をご遠慮ください。電話BOX内・談話コーナーなど通行の妨げとならない場所での通話にご協力ください。
- 病院敷地内は全面禁煙となっています。ご理解とご協力をお願いします。